

製品設置方向

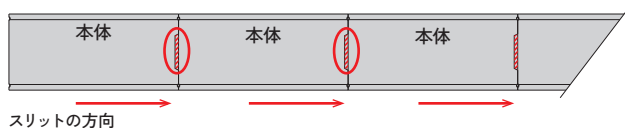
■ 本体の向きの一

OS 側溝本体の一端にはスリット部（穴）が設けられています。本体を連結する際は、必ずスリット部（穴）同士にならないように施工してください。



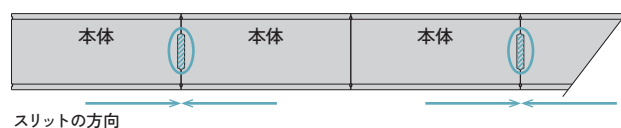
正しい施工方法

本体のスリット部（穴）の方向が一方向に統一である。



誤った施工方法

本体のスリット部（穴）の方向がバラバラで統一性がない。



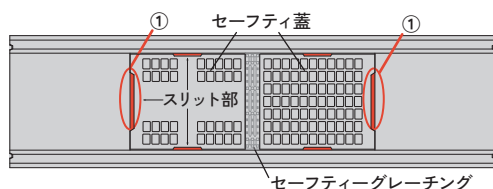
■ セーフティ蓋向きの確認

セーフティ蓋の設置は①のスリット部（穴）がセーフティグレーチングと接しないように設置してください。



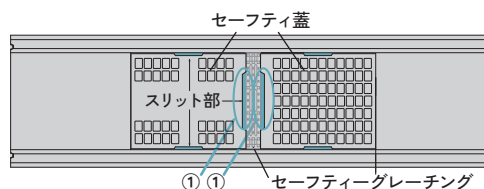
正しい施工方法

蓋のスリット部（穴）のない面がセーフティグレーチングと接している。



誤った施工方法

蓋のスリット部（穴）がセーフティグレーチングと接している。



※間違った施工をすると、スリット部に杖・ハイヒールのかかと・子供のつま先等が引っ掛かる恐れがあり大変危険です。また製品を損傷する恐れがあります。

※図は分かりやすく書いております。実際のスリット形状とは異なります。

■ 基礎版の設置

基礎版とOS側溝本体が千鳥になるよう配置してください。

